

B15b 美星天文台でのアマチュア支援活動

綾仁 一哉、川端 哲也、小暮智一 (美星天文台)、大島 修 (岡山県立鴨方高校)、清水 実 (ぐんま天文台)、美星天文台 101cm 望遠鏡利用者グループ

美星天文台は、1993年の創立時からアマチュアの天文研究活動支援を活動目的の一つにしている。101cm 望遠鏡は、冷却 CCD カメラ、分光器などの観測装置と共に、毎週末に午後 10 時から午前 4 時まで貸し出され、地元を中心に多くのアマチュア観測家に利用されている。なかでも分光観測が美星天文台の特徴で、変光星や彗星のスペクトルがアマチュアの分光観測対象になっている。その観測データによる研究を支援するために、アマチュアの 101cm ユーザ対象の IRAF 分光データ解析講習会、天文学のスキルアップを目的としたテキスト購読の会、アマ・プロ協同ワークショップの開催による情報交換も行っている。最近では、器械設計技術を持つアマチュアとの協同によるガンマ線バースト観測装置の開発や、輝線星モニター観測プロジェクトも始まっている。

これまでの活動と、今後の展望をまとめる。